



平成 18 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 日本ハム株式会社
代表者名 取締役社長 藤 井 良 清
(コード番号 2282 東証・大証第一部)
問合せ先 広報部長 西 原 耕 一
T E L 06-6282-3031

平成 19 年 3 月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 19 日の平成 18 年 3 月期決算発表時に公表いたしました平成 19 年 3 月期中間期の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 連結中間期（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 9 月 30 日）業績予想数値の修正

(金額の単位：百万円)

(米国会計基準による)	売 上 高	税引前利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想(A) (平成 18 年 5 月 19 日発表)	485,000	5,000	2,500
今 回 修 正 予 想(B)	485,000	4,400	2,500
増 減 額(B-A)	0	△600	0
増 減 率(%)	0.0	△12.0	0.0
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 9 月期)	476,969	4,069	3,072

2. 単体中間期（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 9 月 30 日）業績予想数値の修正

(金額の単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想(A) (平成 18 年 5 月 19 日発表)	310,000	2,500	800
今 回 修 正 予 想(B)	305,000	1,500	350
増 減 額(B-A)	△5,000	△1,000	△450
増 減 率(%)	△ 1.6	△40.0	△56.3
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 9 月期)	307,187	3,005	△ 1,505

3. 業績予想修正の理由

《単体決算》

今上半期の単体決算につきましては、工場の再編を含めた生産コストの削減等、前期より取り組んでおります一連の収益改善施策の効果に加え、7月からのハム・ソーセージの値上げによる効果が確実に現れてきております。しかしながら、主に第 1 四半期に収益圧迫要因として顕著であった、輸入鶏肉の市場価格下落を中心とした輸入食肉事業における相場低迷の影響、価格競争激化による加工食品での収益低下などを第 2 四半期で補いきれなかったため、予想数値を修正いたします。

《連結決算》

連結業績予想（中間期）の修正は単体業績予想（中間期）の修正に伴うものです。

なお、通期の連結・単体業績予想につきましては、本年 11 月 15 日の中間決算発表時に公表の予定です。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上